

# 兵庫県生物ノート(1)

編 集 部

県内におこった生産に関する面白そうなことどもを集めて「兵庫県生物ノート」として報告して行きたい。各地の新聞などのニュースを編集部あてにご報告をお願いします。用紙はハガキ、手紙などで、なるべく横書きにして下さい。このノートには締切りはありません。ただ文を短くしたり、数人のものを合作することがあることをご承知願いたい。

## 1. 白旗山の小判

赤穂郡上郡町白旗山のミツバウツギの株元には赤松氏が滅亡したときに、多額の小判を埋めたということである。富山県、奈良県にも似たような伝説があるところから、恐らくありえない木といったものであろう。(中山太郎：生活と民族、p.40)

## 2. おいとこ

加東郡各町村では毎年3月16日においとこと称してイカナゴ飯をたき、竹の箸を新調し家内一同で食し、後にこの箸を縄にさして、屋上にあげて健康を祈願する。これに反して、多くのところでは竹の箸を忌む風習がある。火葬場の人骨を拾うのに青竹の箸を用いるところが多い。茨城県などでは竹箸で食事をすると願いがわかないと言う。(加東郡誌、中山太郎、生活と民族、三笠書房)

## 3. 馬を飼う

氷上郡生野村本郷の阿智観明神は同郡沼貫村新郷の城主赤井氏の祖先が、信州からきたときに諏訪神社を祭ったが、祭日に山で鹿を狩り、社に掛け糞とした。しかし後年鹿がとれなくなったので、3才の牛を射て供えようと不思議に3才の牛が死ぬので、中古から牛を飼わず馬ばかり飼うようになった。(中山太郎、生活と民族、p.235)

## 4. 榎の箸

加東郡の村々では正月の箸は榎の木で新調したものに限定されている。榎は固い木から家計の量かさを守るためであろう。

その他、箸には栗(苦離)で縁喜を祝う。歯いたときに萩の箸を用いるのは萩は剥ぎとるの意からであるという(同)。

## 5. 太い白箸

正月3日間の雑煮を祝うときは、白い太箸を用いる。尾崎紅葉の

太箸の鶴にあやかる思ひかな

この句で判るように箸をツルの嘴にみたてて長寿を祝

って用いる(同)。

## 6. 高師小僧(サンドパイプ)

明石市屏風ヶ浦あたりを散歩していると高師小僧が足元にみられる。これは木や草の根に褐鉄鉱や沼鉄鉱が付着してできたものである。その中央には根が腐敗して孔があいたり、繊維性のものが残ったりしている。可愛いので小僧という。これは愛知県豊橋市高師林高師原に産するものは代表的である。日本中では佐渡、愛知あたりのものは有名である。

## 7. 竜野のソウメン

竜野中心の西播の手延ソウメンは全国一の産地をもっている。これは今から160年前、大和から技術を移入したもので、兵庫、岡山の粘着力に富んだ内地の小麦、赤穂の塩、それに湿度と温度が製造に適し、それに担保の水のよいことであるという。

## 8. 明石のフグ中毒

市内の林しげのさんは7月22日に中毒でなくなった。これは21日午後6時にナゴヤフグを手料理で食べたところ、8時から中毒症状、手当を加えたが8時死亡した。昨年は県下の中毒は7件、今年は明石で5件3名が死亡した。

## 9. 魚のアパート

淡路島の西淡町沖に兵庫県と徳島県が共同で大型魚礁すなわち魚のアパートを設置することになり、今月中旬頃1.5m四方鉄筋コンクリート造りで中空の魚巣2,300箇が投入される。

大型魚礁設置事業というのは、魚が物陰にエサを求めて集まる習性を利用して、コンクリートブロックなどを大量に海底に沈めて魚の巣を人工的に造成して魚の大団地をつくり、その漁場の生産力を高めようとするもので、37年から沿岸漁業構造改善対策の一つとして県が実施しているものである。こんどこの大型魚礁が設置されることになった鳴門海峡北側の海域は、古くから本県と徳島県との入会漁場となっていたため、両県が協力して行なうことになったもので、設置後の管理ももちろん地元の関係漁業組合に委ねられることになる。

この魚のアパートに集ってくる魚は、マダイ、クロダイ、スズキ、ハマチなどの回遊魚やカレイ、キス、アイナメなどの底棲魚で、その受益範囲は、本県の湊、丸山、阿那賀など両県合わせて14組合の釣魚業者におよび、年間の水揚げ増収額も2,700万円に上るとのことである。

最近活発になってきた栽培漁業の開発とあいまって、この人工大型魚礁の設置によりこの地域の沿岸漁業の企業の経営への移行がさらに促進されることを望みたい（広報資料版572号）。

#### 10. ツバメの話

凶悪犯罪がいろいろおこる時代ではあるがほのぼのと心あたまる話題もある。新聞紙に出た記事から拾うと、トラックに衝突し「即死した親ツバメのかわりに、子ツバメを一家あげて世話している網干駅前の福永さんの話。また尼崎市の西灘商店街の人たちが、アケードに巣を作ったツバメの親子をみんなで育て、子ツバメの1羽が弱ったというので市役所へ問い合わせやら大騒ぎして助けた話。

また農業でホタルの激減が嘆かれているおりから宍粟郡安富町の安富中学校理科クラブの生徒たちは、1年ばかりでホタルの人工孵化に成功した。学校でホタルを人工孵化したのは、全国でもはじめてという。ヘイケボタルは1年、ゲンジボタルは4年かかるというほのぼのと光るホタルを見つめて、生徒たちは実験の成功を喜ぶ以上に、生命のふしぎさを感じたのではあるまいか。

一方ひどい人間性の喪失と生命の軽視。他方にはツバメやホタルのいのちさえいとむむ。このどちらが勝つかだ。どうすれば生命への畏敬の心が育てられるかはむずかしい課題だが少なくともツバメ、ホタル派の仲間がふえることを願う（昭和42年6月）。

#### 11. 六甲山系に不連続線

##### 兵庫・大阪共同気流調査の結果

兵庫県と大阪府が共同で行なった阪神間の気流調査の結果が、8日大阪で行なわれた両府県阪神広域大気汚染共同調査実施本部会議の席上で発表された。

これは、阪神間の気流の動態を調べ、今後の大気汚染対策に役だてようと、41年の7から3回にわたり両府県の165の小・中学校から風船を飛ばして観測したもの。その結果①生駒山系の枚岡付近では年中うず巻きがおこりやすい②六甲山系では、風は山系に平行に吹く傾向が強く、神戸市東部では不連続線（風向きが一定でない地点を結んだ線）がよく観察される③陸からと海からの風の交替期で、風の弱いとき北摂地方は乱気流が生じやすいこと一などがわかった〔兵庫県広報資料版、568号（昭和42年8月10日）〕。

#### 12. タコのシャブシャブ

会員の加藤茂氏は明石マリンセンターの専務さんで、いろいろとタコの料理が行なわれている。うちでもタコのシャブシャブは食通に大評判である。これはタコを生きたままで皮を剥ぎ、だし汁のにえている土鍋のなかにしゃぶっとつけ、ゴマシソをつけて食べる。タコの肉がちちまらぬうちに食べる。タコの肉がちちまらぬうちに

食べるのがコツである。その他、うまいタコ料理が20種もある。会員諸氏のご試食を乞う。ただし有料です。

#### 13. 甲虫の価格

神戸市兵庫区平野の祇園神社の夏祭りは7月13日から20日までの1週間である。この祭りの名物は200軒の夜話が出て裸電球で物売をやる。特に甲虫を売る店が多いことである。本年はカブトムシ1匹300円、ミヤマクワガタ200円、スズムシ80円で子供が買いあさる。

なお、この祭りに参拝すると伝染病にかからないといわれる。

#### 14. ミチノカミ

播磨多治郎は赤穂で塩焼きをして、塩の結晶を作って非常用として全国のセブリに供給していた「ミチノカミ」（塩一）である。一族に非常塩を供給する塩つくりの長である。

非常塩の作り方は、海水を何百という竹筒に汲み入れ、真夏の太陽にあてて、塩凝を作る。この塩凝は、水砂糖のような結晶で、やや苦味があるが、ほんの小粒を水に溶かしても塩度が高い上に、油紙に包んでおれば、夏も固形のまま保てるので非常用に用意している。セブリモノはお守のように所持している（ミチ＝塩の意）。〔三角寛、サンカの社会（1965）〕。

#### 15. ホタルの町

ホタルは、日本では季節の風物として親しまれているが農業や汚水の影響で年ごとに少なくなってゆくため、毎年ホタルのシーズンになるとその保護をめぐっている論議される。暗やみに光を放つホタルをみて、怪獣のタマゴかと目を丸くする都会の子どもたちにホタルを贈ってあげようとする山の子どもの善意は、もちろん育てなければならぬが、乱獲がホタルの絶滅に輪をかけることも考えなくてはなるまい。

こんなときに、町役場と中学校の共同研究により、ホタルの人工飼育に成功したという明るい話題がある。昨年からは県教育委員会が提唱している楽しい町づくり運動のモデル町として「花とホタルの町」に指定された宍粟郡安富町と安富中学校で、昨年6月、町内で約3,000匹のホタルを捕え、その人工飼育を試みていたものである。これは、世界で最初にホタルの人工飼育に成功した滋賀県野洲郡守山町の南喜市郎さんの飼育方法を見学、ヒントを得たもので、現在5,000の幼虫を飼育している。来月はじめにはこのホタルが飛びかうことになり、同町ではこの機会にホタル祭りを計画しているという。

今年は、佐用郡上月町がホタルの町に指定された。この町はホタルの保護条例までつくっている熱心な町である。これらの町が、いつまでもホタルの光に心の安らぎを求められるような楽しい町であることを祈りたい（広報資料版No.560、6月15日1967）。

## 16. マツクイムシの現状

松くい虫の被害は山陽、淡路が中心である。最初は大正の初期で相生市の神社の老松がやられ次第に広がっていった。大被害は昭和13年頃からであるが、終戦直後は明石市以西がひどく、20万㎡もやられた。34年には最低で34㎡にまで減ったが、34～35年の猛台風と夏季の乾燥のため被害は増大し、現在では1万34㎡を前後している。

現在では阪神間、淡路が中心となっている。

松食虫の種類は

キクイムシ科 キイロコキクイムシ (多), マツノキクイムシ, マツノツノキクイムシ, トドマツオオキクイムシ (少)

ゾウムシ科 マツキボシゾウムシ, シラホンゾウ属 (多) クロボシゾウムシ (やや多), オオゾウムシ

カミキリムシ科 マツノマダラカミキリ (多い), ムナクボサビカミキリ (やや多) などである。

被害の発生は秋期が80%を占め、県全体の被害は典型的な被害といえる。加害虫は淡路ではマツノツノキイムシの容度が高く、枯損の優占種となっている。共通的な被害はシラホンゾウ属、マツノマダラカミキリ、クロキボシゾウムシ、キイロコキクイムシである〔兵庫県庁林務課、木下稔(1967)森林防疫ニュース、16巻、5号、101～105〕。

## 17. 網干竜門寺のぐら糸

藕糸(ハスの茎葉から出る糸)織の最も古いものは寛文11年(1671)に作られた小倉藩の寄進された福聚寺のものである。続いて元禄6年春(1693)に平戸侯松浦任公室松林院によりて寄進され、現に播州網干竜門寺に蔵せられる涅槃繡像の地布である……。大賀一郎(1939):上方, 102号; ハスを語る, 142 (1954)。

## 18. 県のアメリカシロヒトリ

兵庫県下の昨年の発生地は神戸市, 尼崎市, 伊丹市, 西宮市, 赤穂市です。

### 1. アメリカシロヒトリとはどんな虫か

この虫は葉を食い荒らす毛虫で、年2回発生し1年を

通じて下図のような生活をしていきます。被害を与える幼虫は6月上中旬と8月中下旬の2回です。

### 2. どのように防除したらよいか

この毛虫は、サクラ、プラタナス、ポプラ、ヤナギなどの葉を好んでたべ、はじめはその葉にクモの巣のように作ってかたまり、次第に広がりますから広がる前にこの巣をみつけ、枝葉を切り取りふみつぶすか焼きするのが一番よい方法です。

とり残しのある場合は、次の薬剤を散布して防除しましょう。

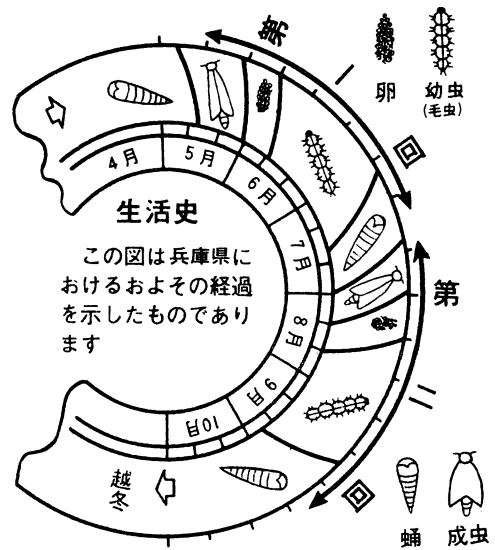
- デイブテレックス乳剤 700～1,000倍液
- DDVP乳剤 500～700倍液

### 3. 一斉防除運動期間

第1回目 5月25日～7月10日

第2回目 8月1日～9月10日

この期間は特に被害も大きく、幼虫も比較のみつけ易いので是非皆さんの庭木によく注意し防除を行なって下さい。(兵庫県農林事務所)。



## 第22回生物学会総会ご案内

昭和43年度、第22回総会は来る5月下旬に行なわれる。

場所: 交渉中

研究発表希望の方は県立芦屋高等学校生物教室あて申し込むこと。

なお、具体的な詳しい案内状は4月中旬に改めて発送する。